

2019 年度事業計画

2019 年 3 月 14 日
一般社団法人超教育協会

1. 提言

- (1) 参加団体等と教育・人材育成に関する社会提案・生産提言等を集約し、提言の策定・発信。
- (2) 超党派教育 ICT 議連（教育における ICT 利活用をめざす議員連盟）の事務局運営
立法府との連絡・調整機能。

2. 新学習・人材育成環境の設計

- (1) 未就学児から社会人までの、学校の枠を超えた未来の学習環境のデザイン。
- (2) 新学習・人材育成環境の実証実験・実装。

3. 先端技術の教育利用の推進

AI、ブロックチェーン、VR クラウドなど先端技術の教育への導入に向け、WG を開催し、各界の TOP レベルの知見を集約すると共に、実証実験を推進。

- (1) AI×教育 WG
AI の教育への活用につき、ビジョン案作成と映像化を目指す。
- (2) ブロックチェーン×教育 WG
「教育利用に関する検討」、「技術者育成」、「技術の性能向上」につき議論を深める。
- (3) VR×教育 WG
実証実験を推進し、結果をまとめる。
また VR の教育利用について議論を進め、VR を教育現場でどのように活用するか、その際の課題は何かにつき検討する。
- (4) クラウド×教育 WG
学校教育へのクラウド導入とビッグデータの活用推進につき、検討を行い、実証実験を進める。

4. ICT 教育の推進

- (1) プログラミング教育の推進
- (2) デジタル教材の著作権管理方法。－教育版 JASRAC の構築、運用。
- (3) 教育情報化の推進
- (4) CS for All の充実

5. EdTech ビジネス支援

ファンド等との連携によるピッチイベント等の企画・運営

6. ICT プロフェッショナルの育成・確保

- (1) エグゼクティブ向け IT 講座の開催
企業 TOP、マネジメント層に向けての高度 IT 技術の経営への活用のためのエクステンションカリキュラム「超大学」を開講。
超大学受講者をサロン化による次世代経営者のネットワークを構築。
受講者と超教育協会との連携構築。

- (2) 大学、専門職大学、高専と産業界の連携を促進。
- (3) シンポジウム、セミナーの実施による啓蒙活動、リカレント教育の推進。

7. 各団体の活動の活性化、広報支援

サロンの開催、メールマガジン配布、地域展開（超教育 in 福岡の次を展開）

8. 協力学校および自治体との連携体制構築

教育情報ステイトメント賛同自治体との情報交換、連携。

以上